

部活動の地域クラブへの移行（地域展開） に関する取り組み状況報告

令和 7 年 7 月 2 8 日 令和 7 年度第 1 回総合教育会議資料
くらしと文化部作成

地域連携とは・地域移行（地域展開）とは

学校部活動

位置付：学校教育

従来の学校部活

運営・実施主体	学校
指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
補償	災害共済給付

地域連携

地域連携による学校部活

運営・実施主体	学校
指導者	<u>部活動指導員等</u>
参加者	<u>関係校の生徒</u>
場所	<u>拠点校の施設</u>
補償	災害共済給付

移行

地域クラブ活動

位置付：社会教育

地域展開

地域クラブ活動 (学校部活動では無い)

運営・実施主体	<u>地域の多様な主体</u> (スポーツ協会・競技団体・文化芸術団体・大学・民間事業者・地方公共団体)
指導者	<u>地域の指導者</u>
参加者	<u>中学校の生徒</u> (※他世代の参加含む)
場所	<u>学校施設・社会教育施設等</u>
補償	<u>各種保険等</u>

1 趣旨

本アンケート調査は、多摩市立中学校における部活動の地域連携・地域移行に向けた検討の参考とするため、地域で文化芸術・スポーツ活動を行う団体等に対し、現在の実態や今後の取り組みなどに対する考えなどを把握するため、行ったものである。

本調査結果は、部活動の地域連携・地域移行に係る、ガイドライン策定や今後の取り組みを進めるための資料として活用する。

2 実施期間

令和6年11月22日（金）～令和7年1月5日（日）

3 対象

市内で活動する文化団体及びスポーツ団体

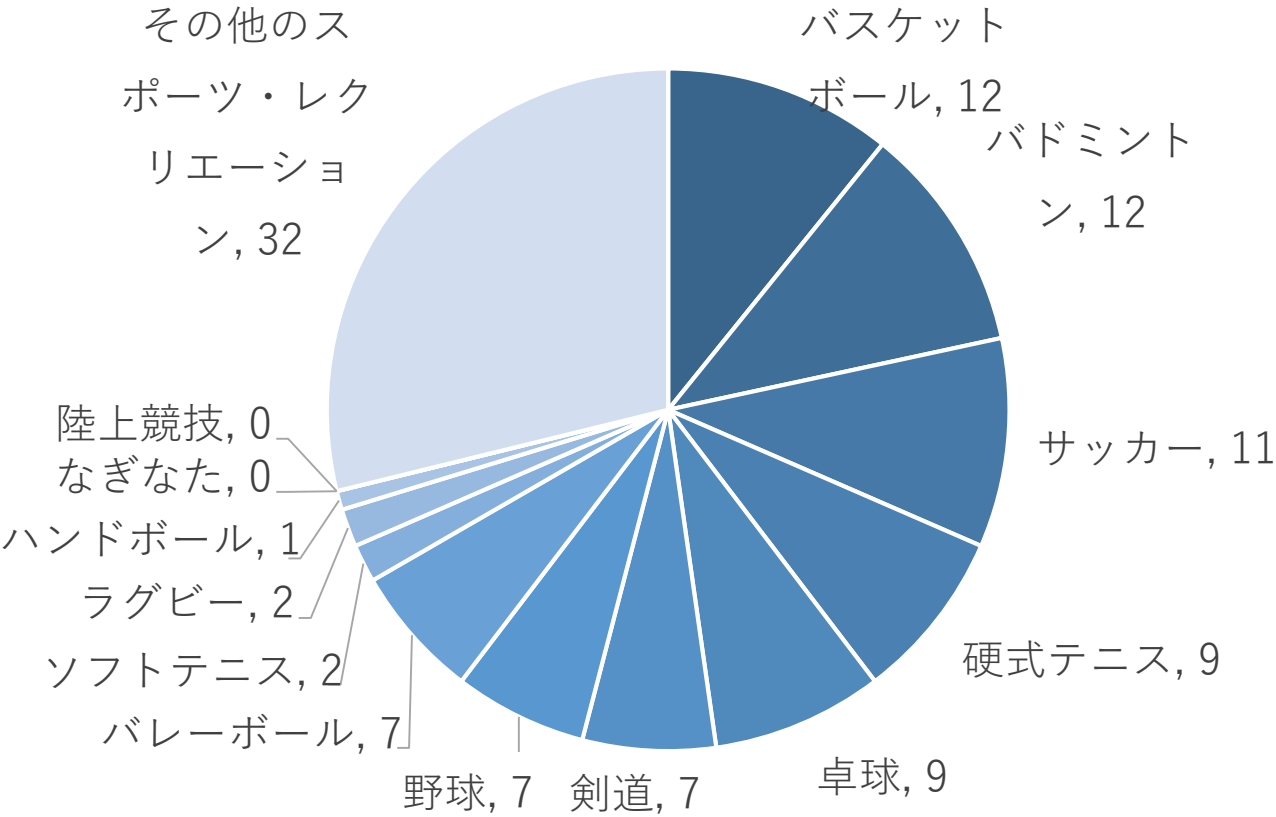
4 実施方法

- ・ インターネット手続き（LoGoフォーム）
- ・ アンケート調査票を下記の施設へ設置
（設置施設：市役所本庁舎、市民活動・交流センター、総合体育館、武道館、アクアブルー多摩）

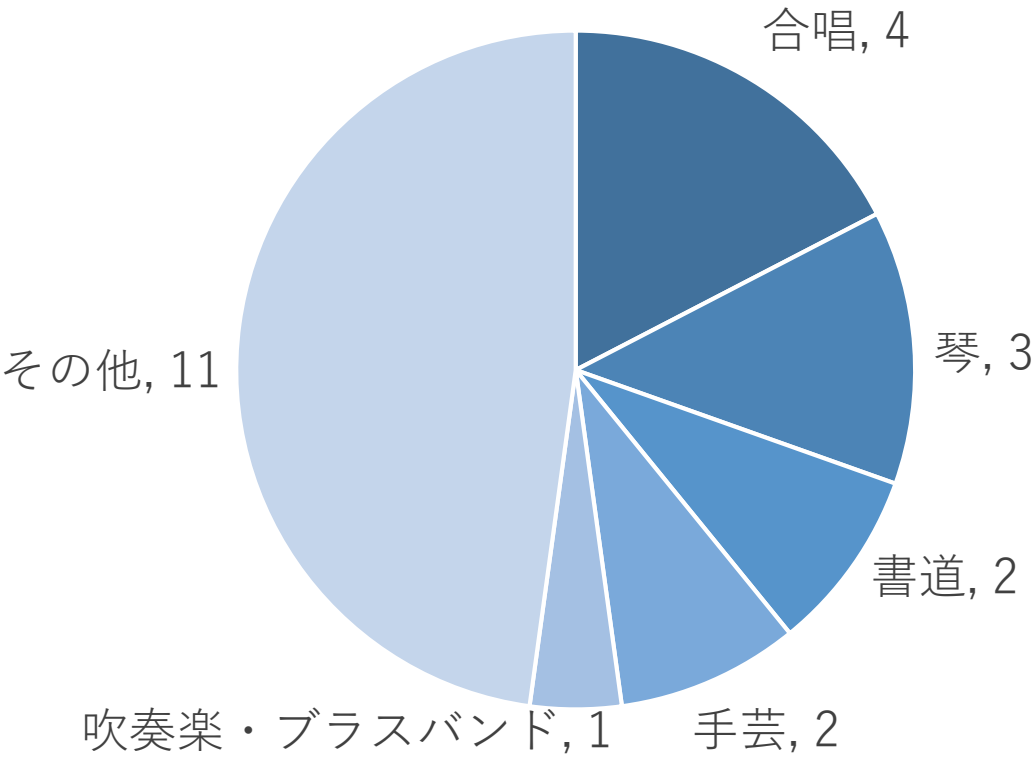
5 主な周知方法

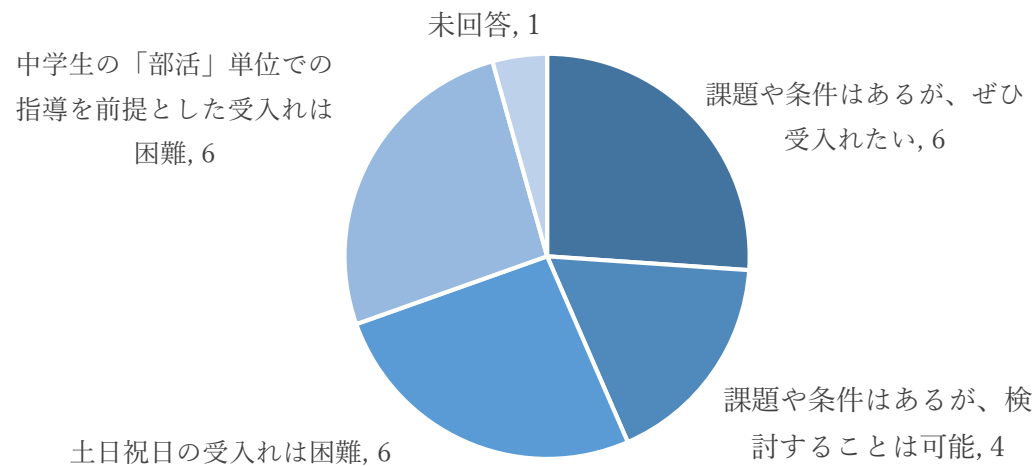
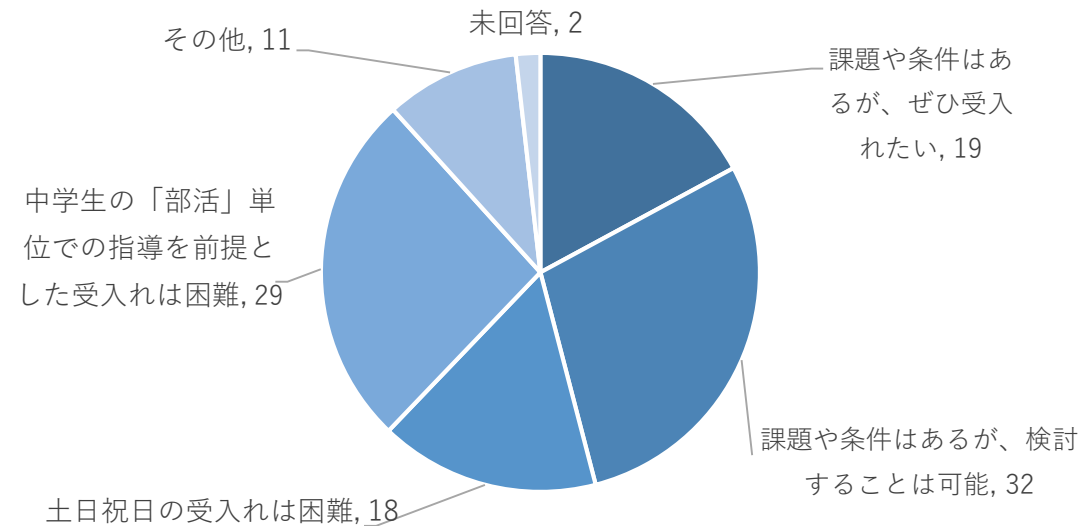
- ・ 多摩市公式ホームページ、公共施設予約システムトップページ
- ・ たま広報12月20日号掲載
- ・ 公共施設におけるアンケート周知チラシ掲出
- ・ 文化およびスポーツ団体へのメールや文書送付等による周知
- ・ 学校開放利用団体、学校跡地利用団体、公民館利用者へのチラシ配付

スポーツ団体：111件



文化団体：23件

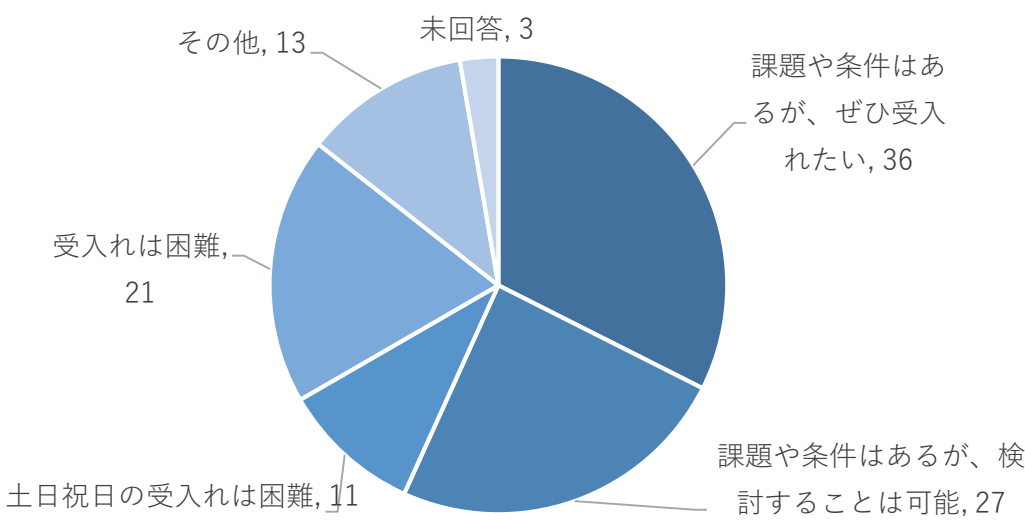




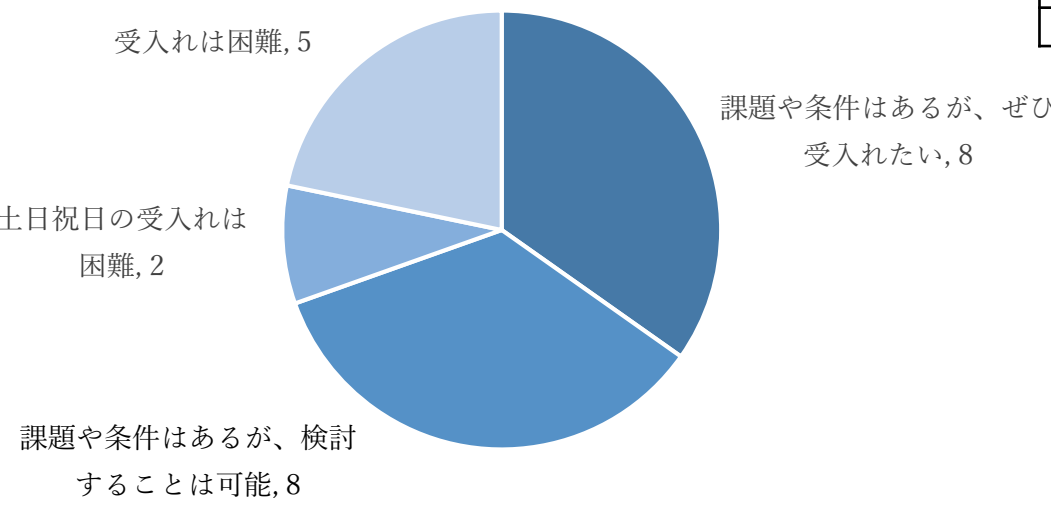
種目	【肯定的】受入れたい	【肯定的】検討可能	【肯定的】その他	土日祝日の受入れ困難	「部活」単位受入れ困難	その他（困難等）	肯定的割合
剣道	2	4	0	0	1	0	85.7%
硬式テニス	1	2	0	2	4	0	33.3%
ソフトテニス	0	1	0	0	0	1	100.0%
サッカー	2	3	1	1	3	1	60.0%
卓球	0	0	1	3	3	2	14.3%
なぎなた	0	0	0	0	0	0	-
野球	1	3	1	0	2	0	71.4%
バスケ	6	2	0	1	3	0	66.7%
バドミントン	1	3	0	2	5	1	36.4%
バレーボール	0	2	0	1	4	0	28.6%
ハンドボール	1	0	0	0	0	0	100.0%
ラグビー	1	0	0	1	0	0	50.0%
陸上競技	0	0	0	0	0	0	-
その他	4	12	0	7	4	5	59.3%
合計	19	32	3	18	29	10	53.5%

【肯定回答団体の内訳】

- ①課題や条件はあるが、ぜひ受入れたい（全6団体）
琴 3団体
書道、伝統芸・かっぽれ、カルチャースクール 各1団体
- ②課題や条件はあるが、検討することは可能（全4団体）
合唱、文芸、吹奏楽・ブラスバンド、囲碁 各1団体



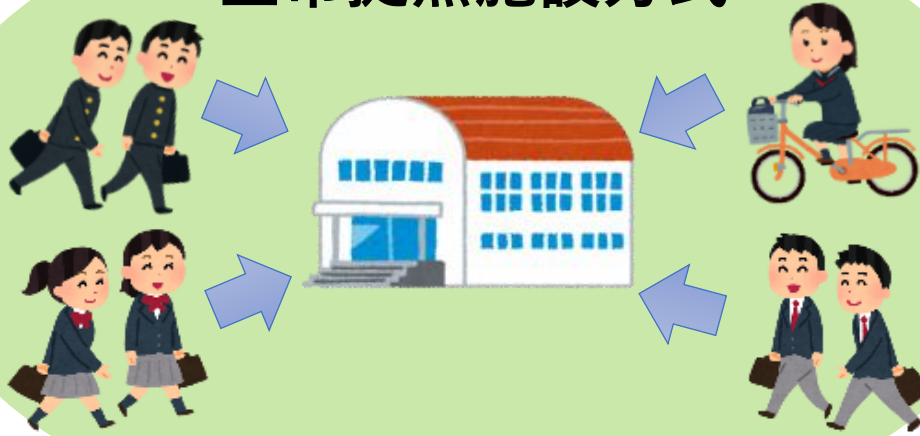
種目	【肯定的】 受入れたい	【肯定的】 検討可能	【肯定的】 その他	土日祝 日の受 入困難	「部活」単 位受入困難	その他（困 難等）	肯定的 割合
剣道	3	4	0	0	0	0	100.0%
硬式テニス	2	4	2	1	0	0	88.9%
ソフトテニス	0	1	1	0	0	0	100.0%
サッカー	3	1	1	1	4	1	45.5%
卓球	1	0	1	2	5	0	22.2%
なぎなた	0	0	0	0	0	0	-
野球	4	2	0	0	1	0	85.7%
バスケットボール	7	2	0	1	2	0	75.0%
バドミントン	2	4	2	2	1	1	66.7%
バレーボール	0	3	2	0	2	0	71.4%
ハンドボール	1	0	0	0	0	0	100.0%
ラグビー	1	1	0	0	0	0	100.0%
陸上競技	0	0	0	0	0	0	-
その他	12	5	0	4	6	5	53.1%
合計	36	27	9	11	21	7	64.9%



- 【肯定回答団体の内訳】
- ①課題や条件はあるが、ぜひ受入れたい（全8団体）
琴 3団体
合唱、工芸、囲碁、伝統芸・かっぽれ、カルチャースクール 各1団体
 - ②課題や条件はあるが、検討することは可能（全8団体）
書道、吹奏楽・ブラスバンド、手芸、文芸、料理、中国語の学習、茶道、邦楽(箏、三絃、尺八)の合奏 各1団体

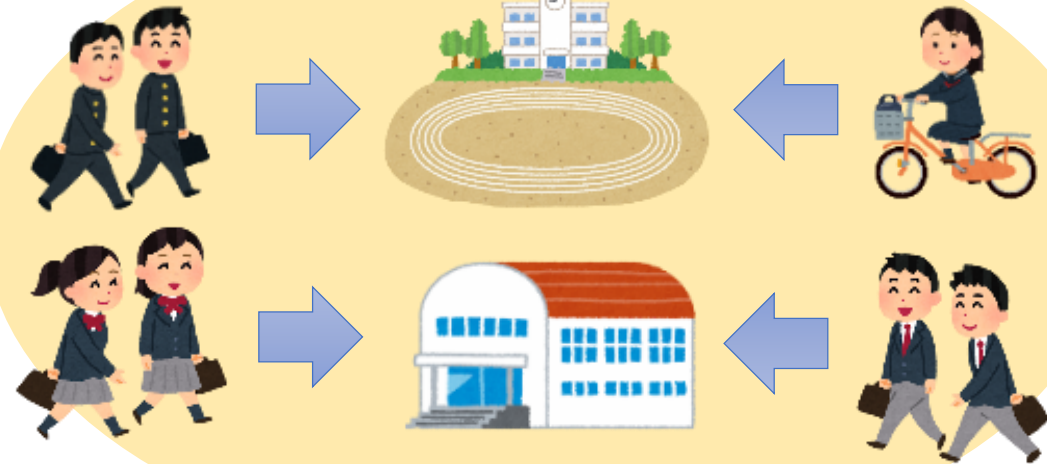
市内 1 か所の活動拠点施設に集めて活動

全市拠点施設方式



エリア内に設定した活動拠点施設に集めて活動

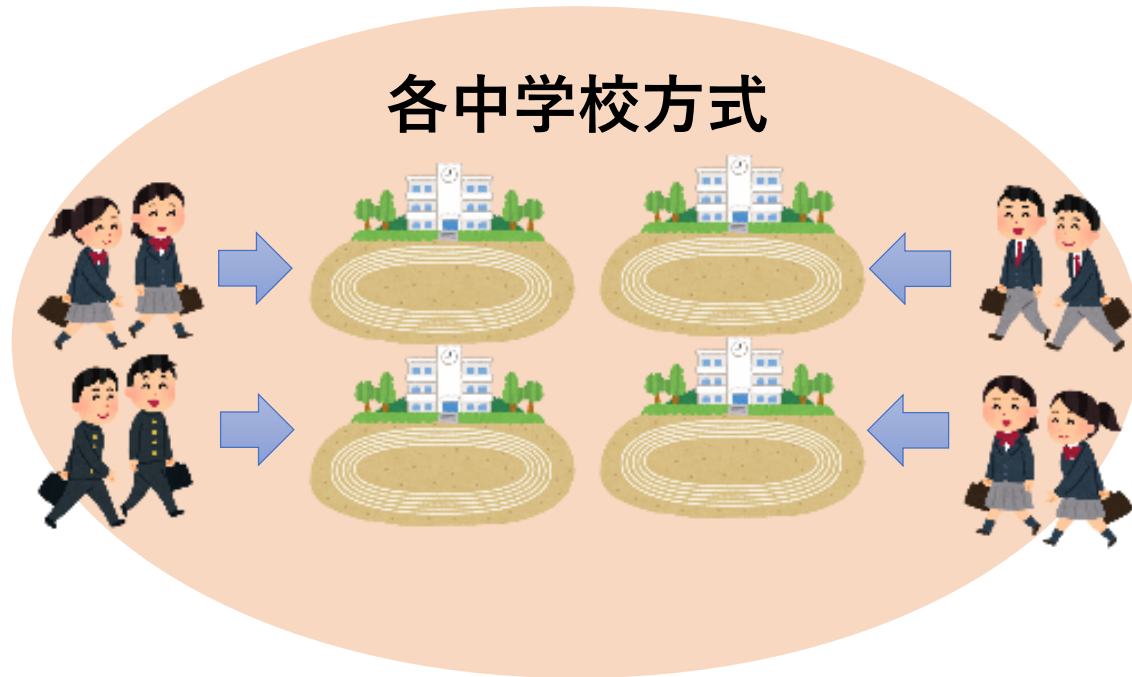
地区別拠点施設方式



【検討のポイント】

- 会場や指導員が比較的確保しやすい。
- 他校生徒との交流が促進される。
- △ 移動について、生徒・保護者に負担が発生する。
- △ 部員数の多い競技・活動は大きな会場が必要になる。
- △ 活動日等について学校との調整が必要。

自身が通学する中学校を会場として活動



【検討ポイント】

- 平日と休日の活動の一体性が確保しやすい。
- 活動施設への移動にかかる負担が発生しない。
- 学校間などの調整が発生しない。
- △ 多くの指導員を確保する必要がある。
- △ 部員数減少の課題解決にはつながりにくい。

既存の地域団体活動に参加



【検討ポイント】

- 既存の部活以外も選択肢が広がる。
- 様々な世代など地域との交流が生まれる。
- 既存団体にとっては会員増加につながる。
- △ 競技によっては受け入れ可能な地域クラブが存在しない場合がある。
- △ 中学生受入れにより活動面積が不足する場合がある。

競技別の部活数、部員数、地域スポーツクラブへのアンケート結果から部活動活動場所を考察したところ次のとおりであった。

- 全市拠点方式を実施するには部員数が多く、各中学校方式を実施するには受入可能団体数が不足する。
- 地区別拠点方式又は既存団体参加方式の検討可能な競技が多い。ただし、地域クラブでの受け入れ人数には限界もある。
- ハンドボール、剣道は部活数、部員数が少ないことから、全市拠点方式も可能。
- ソフトテニス、なぎなた、陸上競技、総合運動・スポーツの各競技は受入団体が無い。

No	部活名	部活数	休日	部員数		アンケート結果		活動場所				考察
			活動部活数	部員数	1校平均部員数	部活受入	個人受入	全市拠点方式	地区別拠点方式	各中学校方式	既存団体参加方式	
1	サッカー	7校	6校	131人	18.7人	4団体	3団体	×	○	○△	△	全市は部員数が多すぎる。各中学校では受入れ団体が不足する
2	バスケットボール	9校	9校	302人	33.6人	7団体	7団体	×	○	○△	△	全市は部員数が多すぎる。各中学校では受入れ団体が不足する
3	バレーボール	7校	7校	179人	25.6人	2団体	3団体	×	○	△	△	部活受入意向が2団体のみのため地区別拠点が考えられる。
4	ハンドボール	1校	1校	23人	23.0人	1団体	1団体	○	×	×	○	部員数が少ないため、全市拠点可能。
5	硬式テニス	7校	7校	220人	31.4人	2団体	3団体	×	○	×	△	全市は部員数が多すぎる。各中学校では受入れ団体が不足する
6	ソフトテニス	2校	2校	61人	30.5人	-	-	×	×	×	×	受入団体を探す必要がある。
7	卓球	5校	2校	146人	29.2人	-	1団体	×	△	△	△	土日活動2校のみ。受入団体が少ない。
8	バドミントン	6校	6校	221人	36.8人	4団体	5団体	×	○	○△	△	全市は部員数が多すぎる。各中学校では受入れ団体が不足する
14	軟式野球	8校	6校	93人	11.6人	3団体	4団体	×	○	△	○	全市は部員数が多すぎる。各中学校では受入れ団体が不足する
17	剣道	2校	1校	25人	12.5人	5団体	6団体	○	○	△	○	土日活動学校1校のみのため全市拠点可能。
23	なぎなた	1校	0校	24人	24.0人	-	-	×	×	×	×	土日活動学校無。なぎなた連盟が地域連携実施済み。
24	陸上競技	8校	6校	233人	29.1人	-	-	×	×	×	×	地域クラブが無いことから地域クラブ外での連携団体が必要。
47	総合運動・スポーツ	1校	1校	18人	18.0人	-	-	×	×	×	×	
	総計	64校	54校	1676人	186.2人	28団体	33団体					

部活数、部員数、地域文化団体へのアンケート結果から部活動活動場所を考察したところ次のとおりであった。
なお、今回は、恒常的に土日活動のある部活のみを対象とした。

- 文化系は、休日活動している部活が少なく、各中学校方式または既存団体参加方式での対応が考えられる。
- なお休日活動の学校数が比較的多い吹奏楽については、楽器持ち運びが課題であり、全市拠点や地区別拠点方式は、困難である。
- 和太鼓は、現時点で受入団体が無い。

No	部活名	部活数	休日	部員数		アンケート結果		活動場所				考察
			活動部活数	部員数	1校平均部員数	部活受入	個人受入	全市拠点方式	地区別拠点方式	各中学校方式	既存団体参加方式	
1	吹奏楽・ブラスバンド	9校	3校	252人	28.0人	1団体	1団体	×	×	△	△	全市は部員数が多すぎる。全市及び地区別拠点方式は楽器持ち運びが課題。各中学校方式、地域クラブいずれも受入れ団体や指導者の確保が必要
2	合唱	2校	1校	18人	9.0人	1団体	1団体	-	-	△	○	土日活動学校1校のみ。部員数も少ないため、受入れ団体次第では既存クラブでの受入れ。中学校で指導してもらう方式も考えられる。
3	和太鼓	1校	1校	32人	32.0人	0団体	0団体	-	-	×	△	土日活動学校1校のみ。現時点では部活受入可能団体を把握できていない。 市内には中学生も参加する形で活動している団体が存在する。地域クラブ参加方式は可能と思われる。
4	美術	9校	1校	255人	28.3人	1団体	1団体	-	-	△	○	土日活動学校1校のみ。受入れ団体次第では既存の団体活動へ受入れ。中学校で指導してもらう方式も考えられる。
5	家庭	5校	1校	86人	17.2人	0団体	2団体	-	-	×	○	土日活動学校1校のみ。現時点では部活受入可能団体を把握できていない。個人受入の地域クラブ参加のみ
	総計	26校	7校	643人	71人	3団体	5団体					

活動場所 検討のポイント

- 部活動により設置学校数・部員数が大きく異なる状況がある。
- 受入れ可能な地域団体数も部活動種目により大きく異なる状況がある。
- 現状、受入れ可能な団体が見つからない部活種目もある。



活動場所 検討の方向性

- 種目により状況が大きく異なる中で、多摩市として全ての部活動を画一的に1つの方法とすることは難しいことが想定される。
- 現在、設置校数の少ない種目は全市拠点方式が考えられる、その他の種目は設置校数と協力の得られる地域団体数などの状況から方式を検討する。
- 活動方式については、関係者と協議しながら種目ごとに最適な方法を検討していく。

①地域のスポーツ・文化団体との連携による地域クラブ活動への移行

- 地域団体と連携させていただき、休日について地域移行に向けた試行を行う。
- 令和7年から一部の種目での試行実施を目指す。

②地域のスポーツ・文化団体紹介事業

- 地域で実施されているスポーツ・文化団体の活動の内容等を生徒や保護者に周知することで、生徒が興味関心に応じて自分にふさわしい活動を選べるようにする。
- 令和8年度以降の実施を想定。

日時：令和6年5月30日開催

対象：スポーツ団体・文化芸術団体

参加：49名が参加

方法：会場及びオンライン参加も可能とした。

成果：部活動地域連携・地域移行の現状と現在の検討状況を報告し、情報共有と意見交換を行うことが出来た。



	会場参加	オンライン参加	合計人数
スポーツ団体	26人	9人	35人(71.4%)
文化芸術団体	3人	2人	5人(10.2%)
その他	1人	8人	9人(18.3%)
合計	30人	19人	49人(100%)

●スポーツ団体のジャンル

ラグビー、野球、ミニテニス、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン、ソフトボール、ソフトテニス、杖道、サッカー、硬式テニス、剣道、健康スローピッチソフトボール、空手道、合気道、アーチェリー

●文化芸術団体のジャンル

アート、吹奏楽、合唱、囲碁

各中学校意向調査結果（運動部）

種目別回答

部活	部活数	受入団体	試行可能	試行時期		試行困難 未回答
				R7	R8	
サッカー	7	4団体	5	3	2	2
バスケットボール	14	7団体	6	1	5	8
バレーボール	7	2団体	2	1	1	5
ハンドボール	1	1団体	1		1	
硬式テニス	7	2団体	4	2	2	3
ソフトテニス	3	-	2		2	1
卓球	5	-	3	2	1	2
バドミントン	6	4団体	2	1	1	4
軟式野球	7	3団体	3	1	2	4
剣道	2	5団体				2
なぎなた	1	-				1
陸上競技	8	-	2		2	6
その他	1	-				1

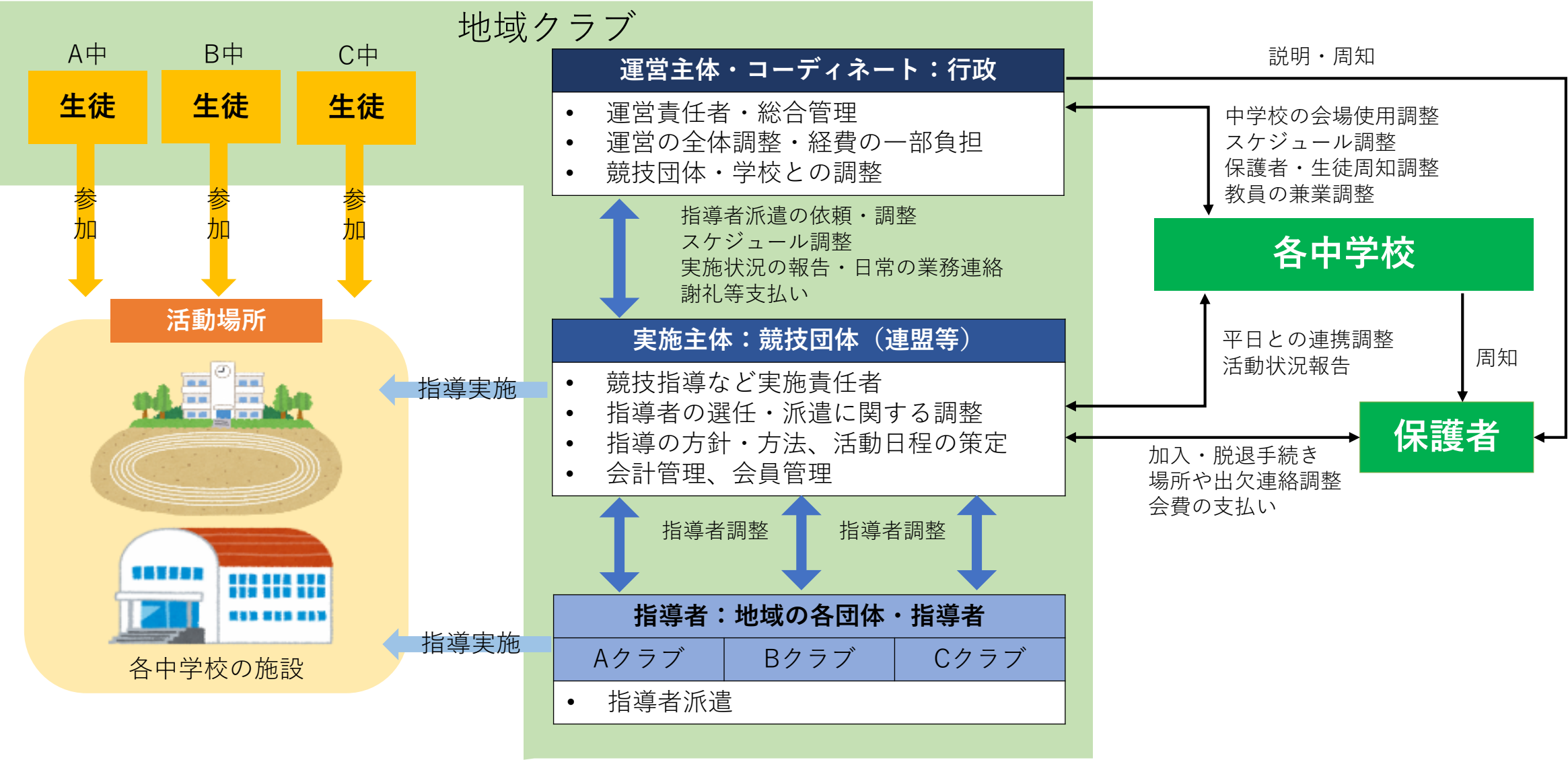
- ・ 試行可能との回答はサッカー、バスケ、テニスが多い。
- ・ バスケットボールは試行困難との回答も多い。（平日と休日の指導者が異なることでの混乱を懸念）
- ・ 試行困難・未回答の理由は、平日と休日の指導者が異なることでの混乱を懸念した意見や現在の顧問が熱心に指導している、土日に活動していないと等である。

各中学校意向調査結果（文化部）

種目別回答

部活	部活数	受入団体	試行可能	試行時期		試行困難 未回答
				R7	R8	
吹奏楽・ブラスバンド	9	1団体	2	1	1	5
合唱	2	1団体	1	0	1	1
英語	2	1団体	1	0	1	1
美術	9	1団体	1	0	1	6
家庭	4	0団体	1	0	1	3
JRC（赤十字奉仕団）	2	0団体	1	0	1	0
農芸	1	0団体	1	0	1	0
その他(休日の活動無し)	10	-	-	-	-	15

- ・ 土日に活動している部活で試行可能と回答があったのは吹奏楽、合唱、美術
- ・ 設置数の多い吹奏楽は、試行困難との回答が多い。平日と休日の指導者が異なることでの混乱を懸念)
- ・ 設置数の多い美術は、休日の活動を行っていないため、試行困難または未回答の学校が多い。
- ・ 文化部は、土日に活動していない部活が多く、試行困難または未回答が多い。





令和7年度試行実施種目・実施校の検討

休日の地域クラブ活動に関するガイドラインの策定

地域のスポーツ・文化団体との意見交換などを通じた連携強化

補助金活用などによる財源の確保

教育委員会との連携による関係者（学校・保護者・生徒・スポーツ文化団体）への周知

休日の地域クラブ活動と平日の学校部活動との連携

令和8年度以降を見据えた段階的な休日の地域クラブ活動への移行（地域展開）